

装備品ソフトウェア認証技術セミナー

「航空機装備品ソフトウェア認証技術イニシアティブ」では、我が国装備品産業の規模拡大を目指し、認証の手助けとなるドキュメントテンプレートの整備やオープンフォーラムの開催など、様々な活動を行ってきました。

その一環としてこの度、「装備品ソフトウェア認証技術セミナー」を開催いたします。ここでは、装備品認証の制度や特徴について概括するとともに具体的な開発事例を紹介することで、認証技術基盤の底上げを図るとともに、装備品産業への新規参入の契機となることを目的としています。

今回は航空局による認証制度全般に関するご説明に続き、先行メーカーによる装備品開発の経験等についてご紹介します。

日 時：令和2年2月5日（水）午後1時30分から5時25分（開場 午後1時）

場 所：一橋講堂中会議場3-4（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

定 員：100名（申込先着順）

参加費：無料

主 催：航空機装備品ソフトウェア認証技術イニシアティブ

=====

プログラム

13:30～13:40

「開会挨拶」

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 航空技術部門

次世代航空イノベーションハブ長 渡辺 重哉 氏

13:40～14:30

「我が国認証制度の概要」

国土交通省航空局安全部航空機安全課

航空機技術基準企画室 専門官 塩野谷 哲久 氏

14:30～15:20

「装備品型式認証と FAA TSO 設計認証の申請」

東京航空計器株式会社 航空宇宙事業本部

民航営業部長 川島 賢太郎 氏

概要

TSO は FAA によって定義された最低運用性能基準 (MOPS) であり、民間航空機に使用する材料、部品、および機器の評価に使用されます。

今回は「JCAB 装備品型式承認」および「FAA に対する TSO 設計承認の申請」についての概要を説明します。

これらの内容を理解する上で必要となる FAA の認証制度と供給構造、および日本の企業が FAA の認証取得が可能である仕組みについても踏まえながら説明を行います。

また TSO 設計承認を取得することの利点について、経験談を交えながら紹介します。

TSO : Technical Standard order

MOPS : Minimum Operational Performance Standards

15:20~15:35

「休憩」

15:35~16:25

「DO-178C の概要とドキュメントプレートの紹介」

MHI エアロスペースシステムズ株式会社

プロセス開発管理室長 各務 博之 氏

概要

民間航空機に搭載する装備品は、多くの乗客、乗員を乗せ空を飛ぶという性質上、当局(米国の場合は FAA、日本の場合は国土交通省の航空局)からは安全性、信頼性の高い装備品の開発が要求されます。また、その装備品にソフトウェアを搭載する際には RTCA が制定した DO-178C というガイドラインに準拠したソフトウェア開発を当局は推奨しています。DO-178C では、ソフトウェアに求められる機能要求と安全要求を確実に実装するためのプロセスが規定されています。今回はその DO-178C の概要と特徴を紹介したいと思います。また、併せてソフトウェア開発を計画する際に必要となる計画ドキュメントのテンプレートを実例を交えて紹介致します。なお、これらのドキュメントテンプレートは今後イニシアティブ会員への提供を予定しているものです。

FAA: Federal Aviation Administration

RTCA: Radio Technical Commission for Aeronautics

DO-178C: Software Consideration in Airborne Systems and Equipment Certification

16:25~17:15

「民間航空機向けソフトウェア認証取得に向けて」

「～SOI 監査における考慮事項～」

住友精密工業株式会社 航空宇宙技術部

電子制御課長 荻野 淳 氏

概要

民間航空機向けソフトウェアを開発するうえで、米国においては FAA から指名された DER によって SOI と呼ばれる監査を受ける必要があります。また、FAA は搭載ソフトウェアの安全性を証明するうえで、RTCA がガイドラインとして制定した DO-178 に準拠した開発を推奨しています。

今回は弊社のソフトウェア認証経験を基に 4 つのステージ毎に実施される監査(SOI#1~4)において監査対象となる DO-178 規定文書 (5Plan&3Standard 及び各種成果物) 等のボリュームや考慮すべき事項を紹介し、民間機ソフトウェア認証のイメージをつかんでいただければと考えています。

DER: Designated Engineering Representative

SOI: Stage of Involvement

17:15~17:25

「航空機装備品産業を取り巻く現状と、装備品ソフトウェア認証技術イニシアティブの今後」

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 航空技術部門

次世代航空イノベーション副ハブ長 伊藤 健 氏

=====

申込方法: **下記 Web サイトからお申し込みください。**

<https://www.cstc.or.jp/enq/input/?hid=be1e1772e80a61b91cb776f31fd462e7>

なお、定員になり次第、受付けを締め切らせていただきますので予めご了承ください。

申込締切: **令和2年1月31日(金)**

問い合わせ先

公益財団法人 中部科学技術センター

航空機装備品ソフトウェア認証技術イニシアティブ事務局 山田

〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

TEL: 080-2642-7211 (事務局専用)

E-mail: kokuki@cstc.or.jp